

注3

大学番号：009

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

岩手大学大学院 連合農学研究科 地域環境創生学専攻（博士課程）

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部 戦略企画・評価分析室

職名・氏名 センリヤクキカク 戦略企画グループ主事 シユジ 伊藤 シオリ 葉

電話番号 019-621-6032

（夜間） 019-621-6032

F A X 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

連合農学研究科

<地域環境創生学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30
<別添資料>	
資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	33

注3

大学番号：009

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

岩手大学大学院 連合農学研究科 地域環境創生学専攻（博士課程）

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部 戦略企画・評価分析室

職名・氏名 センリヤクキカク 戦略企画グループ主事 シユジ 伊藤 シオリ 葉

電話番号 019-621-6032

（夜間） 019-621-6032

F A X 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

連合農学研究科

<地域環境創生学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30
<別添資料>	
資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名

岩手大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3-18-8

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イワブチ アキラ) 岩渕 明 (平成27年3月)	(オガワ サトシ) 小川 智 (令和2年4月)	任期満了による学長交代のため(2)
研究科長	(ヒヤネ アキラ) 比屋根 哲 (平成27年4月)	(ウエムラ マツオ) 上村 松生 (平成31年4月)	研究科長任期満了による変更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
連合農学研究科 地域環境創生学専攻 博士(農学) 博士(学術)	農学関係	3年	7人	年次人	21人	基礎となる学部等 農学部(植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科、動物科学科) 総合科学研究科(農学専攻、地域創生専攻)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	7 (-) [-]	人	7 (-) [-]	人	7 (-) [-]	人	人	人	1.75 倍	-	
志願者数	9 (1) [3]	6 (3) [2]	10 (1) [4]	8 (5) [2]	7 (1) [1]	- (-) [-]					
受験者数	9 (1) [3]	6 (3) [2]	10 (1) [4]	7 (5) [1]	7 (1) [1]	- (-) [-]					
合格者数	9 (1) [3]	6 (3) [2]	10 (1) [4]	7 (5) [1]	7 (1) [1]	- (-) [-]					
B 入学者数	9 (1) [3]	5 (3) [1]	10 (1) [4]	7 (5) [1]	6 (1) [1]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	2.00		2.42		0.85						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	9 [3] (-)	5 [1] (-)	10 [4] (-)	7 [1] (-)	6 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		9 [3] (-)	4 [0] (-)	10 [4] (-)	7 [1] (-)	
3年次	/		/		9 [3] (-)	4 [0] (-)	
4年次	/		/		/		
計	14 [4] (-)		30 [8] (-)		36 [9] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	14人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	31人	1人	平成30年度	1人	1人	家庭事情(1名)
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	36人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計		1人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{31} = \boxed{3.22} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<連合農学研究科 地域環境創生学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	科学コミュニケーション	1前・後	1			1						2
	東北農学セミナー	1前・後		1		1						
	農学特別講義(英語)	1後		1		1						
	農学特別講義(日本語)	1前		1		1						
	科学英語	1前・後		1								1
	実践統計学(英語・日本語)	1後		1		1	1					2
	研究インターンシップ	1前・後		2		19	16					
	国際学会コミュニケーション	2前・後		1		19	16					
社会人特別演習	1・2前・後		1		19	16						
小計(9科目)	-		1	9	0	19	16					5
専攻別科目	地域環境創生学特別演習	1~2通	1			20	39	2	4			
	地域環境創生学特別研究	1~3通	6			19	16					
	地域環境創生学特論	1前・後		1		1	2					
	地域環境創生学教育研究指導	1前・後		1		19	16					
小計(4科目)	-		7	2	0	20	39	2	4			0
合計(13科目)	-		8	11	0	20	39	2	4			5
卒業要件及び履修方法												
必修科目8単位及び選択科目から選択必修1単位を含め4単位以上取得し、計12単位以上を取得するとともに、学位論文を提出し最終試験に合格すること。 なお、博士(学術)の学位取得を希望する場合は、上記に加え、選択科目の中から他専攻の専攻別特論を1単位以上取得すること。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	科学コミュニケーション	1前・後	1			1						2
	東北農学セミナー	1前・後		1		1						
	農学特別講義(英語)	1後		1		1						1
	農学特別講義(日本語)	1前		1		1						1
	科学英語	1前・後		1								1
	実践統計学(英語・日本語)	1後		1		2	1					1
	研究インターンシップ	1前・後		2		24	20					
	国際学会コミュニケーション	2前・後		1		24	20					
社会人特別演習	1・2前・後		1		24	20						
小計(9科目)	-		1	9	0	24	20					6
専攻別科目	地域環境創生学特別演習	1~2通	1			25	39	2	6			
	地域環境創生学特別研究	1~3通	6			24	20					
	地域環境創生学特論	1前・後		1		3						1
	地域環境創生学教育研究指導	1前・後		1		24	20					
小計(4科目)	-		7	2	0	24	39	2	6			1
合計(13科目)	-		8	11	0	24	39	2	6			9
卒業要件及び履修方法												
必修科目8単位及び選択科目から選択必修1単位を含め4単位以上取得し、計12単位以上を取得するとともに、学位論文を提出し最終試験に合格すること。 なお、博士(学術)の学位取得を希望する場合は、上記に加え、選択科目の中から他専攻の専攻別特論を1単位以上取得すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	科学コミュニケーション	1前・後	1			1						2
	東北農学セミナー	1前・後		1		1						
	農学特別講義(英語)	1後		1		1						1
	農学特別講義(日本語)	1前		1								2
	科学英語	1前・後		1								1
	実践統計学(英語・日本語)	1後		1		1	1					3
	研究インターンシップ	1前・後		2		22	12					
	国際学会コミュニケーション	2前・後		1		22	12					
社会人特別演習	1・2前・後		1		22	12						
小計(9科目)	-		1	9	0	23	12					9
専攻別科目	地域環境創生学特別演習	1~2通		1		23	39	2	8			
	地域環境創生学特別研究	1~3通		6		22	12					
	地域環境創生学特論	1前・後		1			3					1
	地域環境創生学教育研究指導	1前・後		1		22	12					
	小計(4科目)	-		7	2	0	23	39	2	8		1
合計(13科目)	-		8	11	0	24	39	2	8			10
卒業要件及び履修方法												
必修科目8単位及び選択科目から選択必修1単位を含め4単位以上取得し、計12単位以上を取得するとともに、学位論文を提出し最終試験に合格すること。なお、博士(学術)の学位取得を希望する場合は、上記に加え、選択科目の中から他専攻の専攻別特論を1単位以上取得すること。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	科学コミュニケーション	1前・後	1									2
	東北農学セミナー	1前・後		1			1					
	農学特別講義(英語)	1後		1				1				1
	農学特別講義(日本語)	1前		1				1				1
	科学英語	1前・後		1								1
	実践統計学(英語・日本語)	1後		1		1	1					3
	研究インターンシップ	1前・後		2		24	17					
	国際学会コミュニケーション	2前・後		1		24	17					
社会人特別演習	1・2前・後		1		24	17						
小計(9科目)	-		1	9	0	24	17					8
専攻別科目	地域環境創生学特別演習	1~2通		1		26	38	2	8			
	地域環境創生学特別研究	1~3通		6		24	17					
	地域環境創生学特論	1前・後		1		1	2					1
	地域環境創生学教育研究指導	1前・後		1		24	17					
	小計(4科目)	-		7	2	0	26	38	2	8		1
合計(13科目)	-		8	11	0	26	38	2	8			9
卒業要件及び履修方法												
必修科目8単位及び選択科目から選択必修1単位を含め4単位以上取得し、計12単位以上を取得するとともに、学位論文を提出し最終試験に合格すること。なお、博士(学術)の学位取得を希望する場合は、上記に加え、選択科目の中から他専攻の専攻別特論を1単位以上取得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「農学特別講義（英語）」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「農学特別講義（日本語）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任教員及び兼任教員の配置を「0」から「2」に変更。
- ・教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「実践統計学（英語・日本語）」の兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・准教授から教授に昇任の理由により、「研究インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授22」に、「准教授16」から「准教授12」に変更。
- ・准教授から教授に昇任の理由により、「国際学会コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授22」に、「准教授16」から「准教授12」に変更。
- ・准教授から教授に昇任の理由により、「社会人特別演習」の専任教員等の配置を専任教員等の配置を「教授19」から「教授22」に、「准教授16」から「准教授12」に変更。
- ・准教授及び助教に採用、准教授から教授に昇任、助教から准教授に昇任の理由により、「地域環境創生学特別演習」の専任教員等の配置を「教授20」から「教授23」に、「助教4」から「助教8」に変更。
- ・准教授から教授に昇任の理由により、「地域環境創生学特別研究」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授22」に、「准教授16」から「准教授12」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授2」から「准教授3」に、兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・准教授から教授に昇任の理由により、「地域環境創生学教育研究指導」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授22」に、「准教授16」から「准教授12」に変更。

【令和元年度】

- ・教員配置の見直しの理由により、「科学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「農学特別講義（英語）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「農学特別講義（日本語）」の専任教員の配置を「0」から「教授1」に、兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「研究インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授24」に、「准教授12」から「准教授17」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「国際学会コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授24」に、「准教授12」から「准教授17」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「社会人特別演習」の専任教員等の配置を専任教員等の配置を「教授22」から「教授24」に、「准教授12」から「准教授17」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任の理由により、「地域環境創生学特別演習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授26」に、「准教授39」から「准教授38」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学特別研究」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授24」に、「准教授12」から「准教授17」に変更。
- ・教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教授の採用、准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学教育研究指導」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授24」に、「准教授12」から「准教授17」に変更。

【令和2年度】

- ・教員配置の見直しの理由により、「科学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「農学特別講義（日本語）」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「実践統計学（英語・日本語）」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に、兼任教員等の配置を「3」から「1」に変更。
- ・准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「研究インターンシップ」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授20」に変更。
- ・准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「国際学会コミュニケーション」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授20」に変更。
- ・准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「社会人特別演習」の専任教員等の配置を専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授20」に変更。
- ・准教授の採用、准教授から教授に昇任、助教から准教授に昇任の理由により、「地域環境創生学特別演習」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」に、「准教授38」から「准教授39」に、「助教8」から「助教6」に変更。
- ・准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授20」に変更。
- ・教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・准教授から教授に昇任、教育効果を高めるための教員配置の見直しの理由により、「地域環境創生学教育研究指導」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授20」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	10 科目	0 科目	13 科目	3 科目 [0]	10 科目 [0]	0 科目 [0]	13 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	280,802㎡	0㎡	0㎡	280,802㎡				
	運動場用地	61,037㎡	0㎡	0㎡	61,037㎡				
	小計	341,839㎡	0㎡	0㎡	341,839㎡				
	その他	74,213㎡	0㎡	0㎡	74,213㎡				
	合計	416,052㎡	0㎡	0㎡	416,052㎡				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	次世代技術実証技術研究所建設のため(30) 職員宿舎の用途変更のため(2)				
	142,482㎡ 142,389㎡ 141,583㎡ (142,482㎡) (-142,389㎡) (-141,583㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	142,482㎡ 142,389㎡ 141,583㎡ (142,482㎡) (-142,389㎡) (-141,583㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	96室	51室	362室	12室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数						
	連合農学研究科地域環境創生学専攻		72室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体での数 予算状況(運営費交付金の状況)等の変更による(30) 予算状況(運営費交付金の状況)等の変更による(元) 予算状況(運営費交付金の状況)等の変更による(2)	
	連合農学研究科地域環境創生学専攻	893,456 [198,750] 900,436 -[198,532] 905,397 (890,087 [198,002]) (-886,718 [-197,254]) (891,679 [-197,574]) (889,413 [-197,085])	11,529 [2,178] 11,543 [-2,182] 11,477 [-2,178] 11,525 [-2,204] (11,500 [2,178]) (-11,471 [-2,178]) (-11,405 [-2,174]) (-11,373 [-2,180])	5,606 [5,602] 5,621 [-5,617] 5,755 [-5,751] 6,340 [-5,767] (5,606 [5,602]) (-5,621 [-5,617]) (-5,755 [-5,751]) (-6,340 [-5,767])	4,521 4,577 4,556 4,743 (4,398) (-4,275) (-4,254) (-4,115)		84 87 (84) (-87)		0 (0)
		計	893,456 [198,750] 900,436 -[198,532] 905,397 (890,087 [198,002]) (-886,718 [-197,254]) (891,679 [-197,574]) (889,413 [-197,085])	11,529 [2,178] 11,543 [-2,182] 11,477 [-2,178] 11,525 [-2,204] (11,500 [2,178]) (-11,471 [-2,178]) (-11,405 [-2,174]) (-11,373 [-2,180])	5,606 [5,602] 5,621 [-5,617] 5,755 [-5,751] 6,340 [-5,767] (5,606 [5,602]) (-5,621 [-5,617]) (-5,755 [-5,751]) (-6,340 [-5,767])	4,521 4,577 4,556 4,743 (4,398) (-4,275) (-4,254) (-4,115)			84 87 (84) (-87)
	(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 図書スペースの利用方法の見直しのため(30) 図書スペースの利用方法の見直しのため(元) 書架の追加及び図書スペースの利用方法の見直しのため(2)
9,089㎡		665 664 679		685,650 682,700 680,989 679,789					
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,357㎡		野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	200	3年次 17	820		1.04	1.05	—		岩手県盛岡市上 田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	11	512	学士（総合科学）	1.03	1.06	—	平成28年度		
地域政策課程	4	75	6	308	学士（総合科学）	1.05	1.04	—	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部	4	160	—	640		1.07	1.07	—		岩手県盛岡市上 田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士（教育）	1.07	1.07	—	平成12年度		
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（生涯教育）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士（芸術文化）	—	—	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部	4	440	3年次 10	1800		1.04	1.05	—		岩手県盛岡市上 田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	1	364	学士（理工学）	1.03	1.05	—	平成28年度		
物理・材料理工学科	4	80	1	324	学士（理工学）	1.05	1.08	—	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	8	1112	学士（工学）	1.04	1.04	—	平成28年度	同上	
工学部										岩手県盛岡市上 田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部		230	3年次 1	990		1.04	1.04	—		岩手県盛岡市上 田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	—	162	学士（農学）	1.02	1.00	—	平成28年度		
応用生物化学科	4	40	—	162	学士（農学）	1.03	1.05	—	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	120	学士（農学）	1.04	1.10	—	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	1	244	学士（農学）	1.05	1.03	—	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	—	122	学士（農学）	1.03	1.06	—	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	—	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	—	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	—	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.10	1.06	—	平成24年度	同上	
大学全体	—	1030	28	4250		1.05	1.05	—	—	—	—

大学の名称	岩手大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合科学研究科(修士課程)	2	294	—	588	—	0.95	0.93	—			
地域創生専攻	2	54	—	108	修士(農学) 修士(水産学) 修士(工学) 修士(スポーツ健康科学)	1.13	1.05	—	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
総合文化学専攻	2	10	—	20	修士(学術)	0.90	1.10	—	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	—	360	修士(理工学) 修士(工学) 修士(芸術工学)	0.93	0.90	—	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	—	100	修士(農学)	0.85	0.82	—	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
教育学研究科(専門職学位課程)	2	16	—	32	—	1.06	1.00	—			
教職実践専攻	2	16	—	32	教職修士(専門職)	1.06	1.00	—	平成28年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
理工学研究科(博士課程)	3	18	—	18	—	0.74	0.55	—			
自然・応用科学専攻	3	6	—	6	博士(理工学又は理学)	0.49	0.33	—	平成31年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
システム創成工学専攻	3	9	—	9	博士(工学)	0.44	0.44	—	平成31年度	同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	—	3	博士(工学又は芸術工学)	2.16	1.33	—	平成31年度	同上	
工学研究科(博士課程)											
フロンティア物質機能工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成21年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成31年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成21年度	同上	平成31年より学生募集停止
機械・社会環境システム工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成21年度	同上	平成31年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	3	—	—	—	博士(工学又は芸術工学)	—	—	—	平成21年度	同上	平成31年より学生募集停止
獣医学研究科(博士課程)	4	5	—	10	—	1.20	0.40	—			
共同獣医学専攻	4	5	—	10	博士(獣医学)	1.20	0.40	—	平成30年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
連合農学研究科(博士課程)	3	24	—	48	—	1.06	0.62	—			
生物生産科学専攻	3	9	—	18	博士(農学又は学術)	0.77	0.44	—	平成30年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物資源科学専攻	3	8	—	16	博士(農学又は学術)	0.79	0.62	—	平成30年度	同上	
地域環境創生学専攻	3	7	—	14	博士(農学又は学術)	1.75	0.85	—	平成30年度	同上	
生物生産科学専攻	3	—	—	—	博士(農学又は学術)	—	—	—	平成2年度	同上	平成30年より学生募集停止
生物資源科学専攻	3	—	—	—	博士(農学又は学術)	—	—	—	平成2年度	同上	平成30年より学生募集停止
寒冷圏生命システム学専攻	3	—	—	—	博士(農学又は学術)	—	—	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
生物環境科学専攻	3	—	—	—	博士(農学又は学術)	—	—	—	平成2年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院全体	—	357	—	696	—	1.09	0.81	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	成田 拓未 (39) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	加藤 幸 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	丸居 篤 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	中村 剛之 (50) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	佐藤 孝宏 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	坂本 裕一 (44) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	前田 武己 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石村 学志 (46) <平成30年4月> トクダフイロソフイ
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	成田 拓未 (39) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	加藤 幸 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	丸居 篤 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	中村 剛之 (50) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	佐藤 孝宏 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	坂本 裕一 (44) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	前田 武己 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石村 学志 (46) <平成30年4月> トクダフイロソフイ
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	成田 拓未 (40) <平成30年4月> 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	加藤 幸 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	丸居 篤 (42) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	中村 剛之 (51) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	佐藤 孝宏 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	坂本 裕一 (45) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	前田 武己 (51) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石村 学志 (47) <平成30年4月> トクダフイロソフイ
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	成田 拓未 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	加藤 幸 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	丸居 篤 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	中村 剛之 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	佐藤 孝宏 (51) <平成30年4月> 博士(農学)
		農学特別講義(英語) 地域環境創生学特別演習
専	准教授	坂本 裕一 (46) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	前田 武己 (52) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石村 学志 (48) <平成30年4月> トクダフイロソフイ
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 幸男 (47) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	金山 素平 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	冠 秀昭 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	濱上 邦彦 (36) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	三宅 諭 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	武藤 由子 (45) <平成30年4月> 博士(学術)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	國崎 貴嗣 (47) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	後藤 友明 (50) <平成30年4月> 博士(水産学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 幸男 (47) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	金山 素平 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	冠 秀昭 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	濱上 邦彦 (36) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特論 ※
専	准教授	三宅 諭 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	武藤 由子 (45) <平成30年4月> 博士(学術)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	國崎 貴嗣 (47) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	後藤 友明 (50) <平成30年4月> 博士(水産学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 幸男 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	金山 素平 (44) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	冠 秀昭 (44) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	濱上 邦彦 (37) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	三宅 諭 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	武藤 由子 (46) <平成30年4月> 博士(学術)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	國崎 貴嗣 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	後藤 友明 (51) <平成30年4月> 博士(水産学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 幸男 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	教授	金山 素平 (45) <平成30年4月> 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	濱上 邦彦 (38) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	三宅 諭 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	武藤 由子 (47) <平成30年4月> 博士(学術)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	國崎 貴嗣 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	後藤 友明 (52) <平成30年4月> 博士(水産学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小川 三四郎 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	林 雅秀 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	藤科 智海 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡辺 理絵 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石川 雅也 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	花山 奨 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡邊 一哉 (45) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山内 貴義 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	小川 三四郎 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	林 雅秀 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	藤科 智海 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡辺 理絵 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	石川 雅也 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	花山 奨 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡邊 一哉 (45) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山内 貴義 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	小川 三四郎 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	林 雅秀 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	藤科 智海 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導 地域環境創生学特論 ※
専	准教授	渡辺 理絵 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		農学特別演習(英語) 地域環境創生学特別演習
専	准教授	石川 雅也 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	花山 奨 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡邊 一哉 (46) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山内 貴義 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	小川 三四郎 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	林 雅秀 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	藤科 智海 (45) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	渡辺 理絵 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導
専	准教授	石川 雅也 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	花山 奨 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	渡邊 一哉 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菊池 俊一 (52) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	東 淳樹 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	松木 佐和子 (42) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	加藤 千尋 (33) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	森谷 慈宙 (39) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	曾我部 篤 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菊池 俊一 (52) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	東 淳樹 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	松木 佐和子 (42) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	加藤 千尋 (33) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	森谷 慈宙 (39) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	曾我部 篤 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菊池 俊一 (53) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	東 淳樹 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	松木 佐和子 (43) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	加藤 千尋 (34) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	森谷 慈宙 (40) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	曾我部 篤 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導 地域環境創生学特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菊池 俊一 (54) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	安江 紘幸 (39) <令和2年4月> 博士(国際バ'イビ'叔学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	齋藤 仁志 (38) <令和2年4月> 博士(農学)
		農学特別講義(日本語) 地域環境創生学特別演習
専	講師	東 淳樹 (51) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	講師	松木 佐和子 (44) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	加藤 千尋 (35) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	森谷 慈宙 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特論 ※
専	准教授	曾我部 篤 (44) <平成30年4月> 博士(理学)
		研究インターンシップ 国際学会コミュニケーション 社会人特別演習 地域環境創生学特別演習 地域環境創生学特別研究 地域環境創生学教育研究指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山尾 僚 (33) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	教授	檜垣 大助 (64) <平成30年4月> 理学博士
		農学特別講義(英語)
兼任	教授	加来 伸夫 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		科学コミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山尾 僚 (33) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	吉仲 伶 (39) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	正木 卓 (34) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	鄒 青穎 (36) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	山岸 洋貴 (41) <平成30年4月> 博士(地球環境科学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	斎藤 昌幸 (34) <平成30年4月> 博士(環境学)
		地域環境創生学特別演習
専	教授	檜垣 大助 (64) <平成30年4月> 理学博士
		農学特別講義(英語)
兼任	教授	加来 伸夫 (48) <平成30年4月> 博士(農学)
		科学コミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山尾 僚 (34) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	吉仲 伶 (40) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	正木 卓 (35) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	鄒 青穎 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	山岸 洋貴 (42) <平成30年4月> 博士(地球環境科学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	斎藤 昌幸 (35) <平成30年4月> 博士(環境学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山尾 僚 (35) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	吉仲 伶 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	正木 卓 (36) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	鄒 青穎 (38) <平成30年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特別演習
専	助教	山岸 洋貴 (43) <平成30年4月> 博士(地球環境科学)
		地域環境創生学特別演習
専	准教授	斎藤 昌幸 (36) <平成30年4月> 博士(環境学)
		地域環境創生学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	杉山 修一 (63) <平成30年4月> 農学博士
		実践統計学(英語・日本語)
兼任	講師	檜垣 大助 (65) <平成31年4月> 理学博士
		農学特別講義(英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	杉山 修一 (63) <平成30年4月> 農学博士
		実践統計学(英語・日本語)
兼任	講師	檜垣 大助 (65) <平成31年4月> 理学博士
		農学特別講義(英語)
兼任	准教授	宗岡 寿美 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域環境創生学特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	西向 めぐみ (47) <平成31年4月> 博士(農学)
		農学特別講義(日本語)
兼任	教授	杉山 修一 (64) <平成30年4月> 農学博士
		実践統計学(英語・日本語)
兼任	教授	築城 幹典 (60) <平成31年4月> 農学博士
		実践統計学(英語・日本語)
兼任	教授	岸本 正 (61) <平成31年4月> 農学博士
		農学特別講義(英語)
兼任	准教授	熊野 了州 (47) <平成31年4月> 博士(理学)
		地域環境創生学特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡辺 昌規 (48) <令和2年4月> 博士(工学)
		農学特別講義(日本語)
兼任	教授	築城 幹典 (61) <平成31年4月> 農学博士
		実践統計学(英語・日本語)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・比屋根哲：平成30年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・石塚哉史：平成30年4月教授に昇任
- ・片平光彦：平成30年4月教授に昇任
- ・Lopez Larry：平成30年4月教授に昇任
- ・佐藤孝宏：平成30年4月准教授に新規採用
- ・濱上邦彦：平成30年4月教育効果を高めるため担当科目を追加
- ・山内貴義：平成30年4月准教授に新規採用
- ・曾我部篤：平成29年6月准教授に昇任
- ・吉仲伶：平成30年4月助教に新規採用
- ・正木卓：平成30年4月助教に新規採用
- ・鄒青穎：平成30年4月助教に新規採用
- ・山岸洋貴：平成30年4月助教に新規採用
- ・斎藤昌幸：平成30年4月助教に新規採用
- ・下野裕之：平成30年4月兼任教員として配置
- ・浦川修司：平成30年4月兼任教員として配置
- ・宗岡寿美：平成30年4月兼任教員に新規採用
- ・門平睦代：平成30年4月兼任教員に新規採用
- ・姜興起：平成30年4月兼任教員に新規採用

【令和元年度】

- ・東信行：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・野中章：平成31年3月一身上の都合により辞任
- ・小藤田久義：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・磯島昭代：平成31年4月教授に新規採用
- ・長谷川啓哉：平成31年4月教授に新規採用
- ・真坂一彦：平成31年4月教授に新規採用
- ・角田毅：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・山本信次：平成31年4月教授に昇任
- ・高梨子文恵：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・成田拓未：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・石村学志：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・濱上邦彦：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・後藤友明：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・藤科智海：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・渡辺理恵：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・曾我部篤：平成31年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・加来伸夫：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直しにより兼任解除
- ・小関卓也：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直しにより兼任解除
- ・小森貞夫：平成31年4月兼任教員として配置
- ・三浦靖：平成31年4月兼任教員として配置
- ・下野裕之：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直しにより兼任解除
- ・浦川修司：平成31年4月授業内容に基づく担当教員数の見直しにより兼任解除
- ・西向めぐみ：平成31年4月兼任教員として配置
- ・築城幹典：平成31年4月兼任教員として配置
- ・檜垣大助：平成31年4月兼任教員就任辞任
- ・岸本正：平成31年4月兼任教員として新規採用
- ・宗岡寿美：平成31年3月兼任教員辞任
- ・熊野了州：平成31年4月兼任教員として新規採用
- ・門平睦代：平成31年3月兼任教員辞任
- ・塩見正衛：平成31年3月兼任教員辞任

【令和2年度】

- ・張樹槐：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・藤崎浩幸：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・東信行：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・颯田尚哉：令和2年3月一身上の都合により退職
- ・小藤田久義：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・長谷川啓哉：令和2年3月一身上の都合により退職
- ・真坂一彦：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・角田毅：令和2年3月一身上の都合により退職
- ・森洋：令和2年4月教授に昇任
- ・原科幸爾：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・吉村謙一：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・丸居篤：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・佐藤孝宏：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・金山素平：令和2年4月教授に昇任、教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・冠秀昭：令和2年3月一身上の都合により退職
- ・林雅秀：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・藤科智海：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・渡辺理絵：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・渡邊一哉：令和2年4月教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・安江紘幸：令和2年4月准教授に新規採用
- ・齋藤仁志：令和2年4月准教授に新規採用
- ・森谷慈宙：令和2年4月准教授に昇任、教育効果を高めるために担当科目を追加
- ・曾我部篤：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・斎藤昌幸：令和2年4月准教授に昇任
- ・小森貞男：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・三浦靖：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・前田智雄：令和2年4月兼任教員として配置
- ・佐藤之紀：令和2年4月兼任教員として配置
- ・鈴木雄二：令和2年4月兼任教員として配置
- ・西向めぐみ：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・渡辺昌規：令和2年4月兼任教員として配置
- ・杉山修一：令和2年4月授業内容に基づく担当教員数の見直し
- ・岸本正：令和2年3月兼任教員辞任
- ・熊野了州：令和2年3月兼任教員辞任
- ・赤坂卓美：令和2年4月兼任教員として新規採用
- ・姜興起：令和2年3月兼任教員辞任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
20	39	2	4	65	0	25	39	2	6	72	0
(24)	(39)	(2)	(8)	(73)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
35	30	0				44	28	0			
(35)	(38)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
25	39	2	6	71	0	24	39	2	6	71	0
[4]	[0]	[0]	[2]	[6]	[0]	[4]	[0]	[0]	[2]	[6]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
43	28	0				43	28	0			
[8]	[Δ2]	[0]				[8]	[Δ2]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{71}{65} = \boxed{109.23} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	野中 章	H31.3	選択	研究インターンシップ	①	連携大学院のため、先方での一身上の都合により平成31年3月31日付辞任（元）
				選択	国際学会コミュニケーション	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別研究	①	
				選択	地域環境創生学教育研究指導	①	
1	教授	颯田 尚哉	R2.3	選択	研究インターンシップ	①	一身上の都合により令和2年3月31日付辞任（2）
				選択	国際学会コミュニケーション	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別研究	①	
				選択	地域環境創生学教育研究指導	①	
2	教授	長谷川 啓哉	R2.3	選択	研究インターンシップ	①	連携大学院のため、先方での一身上の都合により令和2年3月31日付辞任（2）
				選択	国際学会コミュニケーション	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別研究	①	
				選択	地域環境創生学教育研究指導	①	
3	教授	角田 毅	R2.3	選択	研究インターンシップ	①	一身上の都合により令和2年3月31日付辞任（2）
				選択	国際学会コミュニケーション	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別演習	①	
				必修	地域環境創生学特別研究	①	
				選択	地域環境創生学教育研究指導	①	
4	准教授	冠 秀昭	R2.3	必修	地域環境創生学特別演習	①	連携大学院のため、先方での一身上の都合により令和2年3月31日付辞任（2）
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
5	人	必修	9	科目	必修	9	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	25	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5 人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
	選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{65} = \boxed{7.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	檜垣 大助	選択	農学特別講義(英語)	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		科目
	選択	1	科目	選択	1	科目	選択		科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		科目
	計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員の辞任等による科目の未開講は無く、同分野の専任教員が代替するため支障はない。学生への周知に関しては、新入生に配付する「履修の手引き」「シラバス」において、学生の授業に支障がないように周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

< 連合農学研究科 地域環境創生学専攻 >

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
6回（参加教員13人ほか事務職員2人）

c 委員会の審議事項等
FD実施計画，GPA，学年暦，卒業生・修了生アンケートについて審議

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FD研修
- ・ 授業公開
- ・ 新任教員研修会
- ・ 授業評価アンケートの実施

b 実施方法
教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上，実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）
全学FD研修（平成30年8月30日） 教員114名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
授業評価アンケート結果及び全学FD研修アンケート結果を踏まえ，教育推進機構教育推進連携部門において，改善事項を整理し，全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期及び後期に授業アンケートを実施

b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 【該当なし】

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に沿ったカリキュラムを用意し、1年目は着実に履行した。
2年目も引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向け取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度 公表予定

b 公表方法

- ・令和2年度年度計画の自己点検・評価を通じた「自己点検・評価報告書」等を大学ホームページ上に公開予定（令和3年度中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度、大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価を受審（次回令和7年度以降、認証評価を受審予定）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ～ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

平成26年4月1日 制定

令和2年3月25日 最終改正

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関すること。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関すること。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関すること。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関すること。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関すること。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関すること。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関すること。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関すること。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。

3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5号のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。